

要請番号 (JL50623A53)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エチオピア	G159 数学教育		個別	新規	2年	・ 2024/1 ・ 2024/2 ・ 2024/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ダグマウィ メネリック小学校

3) 任地 (アディスアベバ) JICA事務所の所在地 (アディスアベバ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

首都アディスアベバのアラダサブシティにある公立小学校。生徒数約760名、算数科教員数は8名。エチオピアの小学校はGrade1～Grade8の8年制(小学校1年～中学校2年に相当)で概ね7～14歳の生徒が在籍しており、アムハラ語(国語)、英語、算数、理科、社会、エステティック(音楽・図工・体育)などが教えられている。Grade6までは授業には現地公用語であるアムハラ語が用いられ、Grade7からは英語が使用されている。同校からは理科教育隊員の要請が、また同施設内にある幼稚園からは幼児教育の要請も出されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

エチオピアでは理数科教育に重点を置いた教育政策が取られているものの、算数教育においては、教員の指導力不足や生徒数の多さ、板書による暗記中心の授業が主流であることなどから、児童・生徒にその内容が十分に理解されず、基礎的計算能力等が不足していることが課題となっている。配属先校でも算数に苦手意識を持つ生徒が多く、同教科の学力が低いことが課題となっており、隊員には身近な例や教材を使った分かりやすい算数指導方法の紹介や現地教員向けの研修を行い、生徒たちが算数を好きになれるような授業の実施に貢献することが求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 同僚を対象に下記についての研修を実施し、教員の指導能力向上に協力する。
 - 身近な例を用いた分かりやすい算数指導方法
 - 現地で入手可能な材料を使用した教材の作成
 - 生徒中心授業の考えを取り入れた指導方法
- 同僚とのチームティーチングによりGrade5～8(小学校高学年～中学校2年生相当)を対象に上記の要素を取り入れた算数授業を実施し、生徒の苦手意識改善に貢献する。
- その他生徒の算数(特に計算)の理解度を向上させるための活動を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、黒板、PC、プリンター、コピー機、教科書、定規、コンパスなど(数は少ない)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:校長:男性30代
同僚算数科教員:男性3名、女性2名(30～50代 大卒または院卒)
活動対象者:Grade5～8(小学校高学年～中学校2年生相当)の生徒約450名
約60人/クラス、各学年2～3クラス

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(中学校又は高等学校教諭(数学))

[学歴]：(大卒) 備考：配属先学歴レベルとの調和

[性別]：() 備考：

[経験]：(教員経験) 3年以上 備考：同僚への指導が必要のため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖冬季少雨気候)

気温：(9～27℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可)

電話可

無線)

[水道]：(安定)

【特記事項】

エチオピアの小学校ではGrade1～6はアムハラ語、Grade7～8は英語を使って授業を行うため、活動使用言語もそれに準ずる。生活使用言語はアムハラ語となる。水道は安定しており、電気は毎日1時間程度停電。